

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成28年5月19日(2016.5.19)

【公開番号】特開2015-82160(P2015-82160A)

【公開日】平成27年4月27日(2015.4.27)

【年通号数】公開・登録公報2015-028

【出願番号】特願2013-218961(P2013-218961)

【国際特許分類】

G 06 Q 30/06 (2012.01)

G 07 G 1/14 (2006.01)

【F I】

G 06 Q 30/06 2 1 0

G 07 G 1/14

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月25日(2016.3.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

送信するデータを記憶する記憶領域の生成を指示するコマンドを送信する通信部を有するデータ供給装置と、

前記データ供給装置の前記通信部で送信された前記コマンドを受信するデータ通信部、前記コマンドに基づいて前記データ供給装置から送信される前記データを記憶する前記記憶領域を生成するデータ制御部、前記記憶領域が生成される記憶部、及び前記記憶領域に記憶される前記データを送信する送信部を有する送信装置と、

を備えることを特徴とする送信システム。

【請求項2】

前記送信装置で送信された前記データを受信する送受信部、及び前記送受信部で受信された前記データを処理する処理部を有する受信装置を備え、

前記記憶領域は、前記記憶領域を識別する識別情報を有し、

前記受信装置は、前記識別情報を有する前記記憶領域と対応付けられる請求項1に記載の送信システム。

【請求項3】

前記データ供給装置は、前記データ供給装置に付与される固有情報を記憶する記憶部を有し、

前記コマンドは、前記固有情報を有する請求項1または2に記載の送信システム。

【請求項4】

前記受信装置は、前記処理部で前記データを処理した後、前記送受信部は、前記データを処理した結果を前記識別情報を前記記憶領域を指定して、前記送信装置の前記記憶領域に送信する請求項2または3に記載の送信システム。

【請求項5】

前記データを処理した結果を送信した時、前記識別情報を有する前記記憶領域が前記送信装置の前記記憶部に記憶されていない場合、

前記受信装置は、前記識別情報を有する前記記憶領域を前記記憶部に生成する第2のコマンドを前記送信装置に送信する請求項4に記載の送信システム。

【請求項 6】

前記コマンドに基づいて前記記憶領域が生成された後、

前記データ供給装置は、前記記憶領域の前記識別情報で前記記憶領域を指定して前記データを送信する請求項 2 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の送信システム。

【請求項 7】

データ供給装置の通信部により送信されたコマンドを受信するデータ通信部と、

前記コマンドに基づいて前記データ供給装置から送信される前記データを記憶する記憶領域を生成するデータ制御部と、

前記記憶領域が生成される記憶部と、

前記記憶領域に記憶される前記データを送信する送信部と、
を有することを特徴とする送信装置。

【請求項 8】

前記記憶領域は、前記記憶領域を識別する識別情報を有し、

前記データ制御部は、前記送信装置で送信された前記データを受信する送受信部、及び前記送受信部で受信された前記データを処理する処理部を有する受信装置を、前記識別情報を有する前記記憶領域と対応付けて記憶する請求項 7 に記載の送信装置。

【請求項 9】

前記データ通信部は、前記データ供給装置から、当該データ供給装置に付与される固有情報を有する前記コマンドを受信する請求項 7 または 8 に記載の送信装置。

【請求項 10】

前記データ制御部は、前記受信装置から、前記識別情報で前記記憶領域を指定された前記処理部で前記データを処理した結果を受信し、当該結果を前記記憶部の指定された前記記憶領域に記憶する請求項 8 または 9 に記載の送信装置。

【請求項 11】

前記データ制御部は、前記受信装置から、前記識別情報を有する前記記憶領域を前記記憶部に生成する第 2 のコマンドを受信した場合、前記記憶部に前記識別情報を有する前記記憶領域を生成する請求項 10 に記載の送信装置。

【請求項 12】

前記コマンドに基づいて前記記憶領域が生成された後、

前記データ制御部は、前記データ供給装置から、前記記憶領域の前記識別情報で前記記憶領域を指定した前記データを受信する請求項 8 乃至 11 のいずれか 1 項に記載の送信装置。

【請求項 13】

データを記憶する記憶領域を記憶部に生成するコマンドを受信し、

前記コマンドに基づいて前記記憶部に前記記憶領域を生成し、

前記コマンドを送信した装置から前記データを受信したとき、前記記憶領域に前記データを記憶し、

記憶された前記データを前記記憶領域に対応付けられた受信装置に送信することを特徴とするデータ送信方法。

【請求項 14】

前記記憶領域は、前記記憶領域を識別する識別情報を有し、

前記送信装置で送信された前記データを受信する送受信部、及び前記送受信部で受信された前記データを処理する処理部を有する受信装置を、前記識別情報を有する前記記憶領域と対応付けて記憶する請求項 13 に記載のデータ送信方法。

【請求項 15】

前記コマンドは、前記データを供給する装置に付与される固有情報を有する請求項 13 または 14 に記載のデータ送信方法。

【請求項 16】

前記受信装置から、前記識別情報で前記記憶領域を指定された前記処理部で前記データを処理した結果を受信し、当該結果を前記記憶部の指定された前記記憶領域に記憶する請

求項 1 4 または 1 5 に記載のデータ送信方法。

【請求項 1 7】

前記受信装置から、前記識別情報を有する前記記憶領域を前記記憶部に生成する第 2 のコマンドを受信した場合、前記記憶部に前記識別情報を有する前記記憶領域を生成する請求項 1 6 に記載のデータ送信方法。

【請求項 1 8】

前記コマンドに基づいて前記記憶領域が生成された後、

前記記憶領域の前記識別情報で前記記憶領域を指定した前記データを受信する請求項 1 4 乃至 1 7 のいずれか 1 項に記載のデータ送信方法。